

資料4 地球温暖化対策に向けた今後の取組について

施策 151 地球温暖化対策の推進

【主担当部局：環境生活部】

県民の皆さんとめざす姿

地球温暖化対策の必要性について広く認知され、県民一人ひとりが日常生活において、また事業者は事業活動において、温室効果ガス排出削減に向けて自主的に行動し、地球温暖化の緩和が進められているとともに、さまざまな分野において、県内で起こりつつある地球温暖化による気候変動の影響への適応が進められています。

平成31年度末での到達目標

家庭や事業所では、省エネルギー、節電、再生可能エネルギーの導入等の温室効果ガス排出削減の自主的な取組が進んでいます。

また、県民の皆さんや事業者等が連携した低炭素なまちづくりの取組が広がっています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
	現状値	目標達成状況	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
家庭での電力消費による二酸化炭素排出量		1,165千 t-CO ₂	1,150千 t-CO ₂		1,134千 t-CO ₂	1,119千 t-CO ₂
	1,144千 t-CO ₂	1,148千 t-CO ₂				
目標項目の説明と平成30年度目標値の考え方						
目標項目の説明	家庭部門からの二酸化炭素排出量として、家庭での電力消費による二酸化炭素排出量					
30年度目標値の考え方	国では、2030年度に2013年度比で温室効果ガスの排出量を26%削減することとしており、家庭での取組を継続して促進しつつ、国の目標達成に資するよう目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
15101 温室効果ガス排出削減の取組推進 (環境生活部)	大規模事業所における温室効果ガスの排出量の増減比率		+0.8% 以下 (27年度)	+1.2% 以下 (28年度)		+1.6% 以下 (29年度)	+2.0% 以下 (30年度)
		-0.5% (26年度)	-1.4% (27年度)				
15102 電気自動車等を活用した温暖化対策の推進 (環境生活部)	電気自動車等を活用した温暖化対策に取り組む地域の数(累計)		4地域	6地域		8地域	10地域
		1地域	2地域				

基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
15103 地球温暖化 対策の普及啓発 の推進 (環境生活部)	地球温暖化対策 講座等の受講後 に、活動に取り 組む意向を示し た受講者の割合		97.0%	98.0%		99.0%	100%
		95.8%	99.3%				
15104 環境教育の 推進 (環境生活部)	環境教育講座等 参加者の満足度		100%	100%		100%	100%
		98.4%	99.7%				

現状と課題

- ①平成 27(2015)年の C O P 21 でパリ協定が採択され、平成 28(2016)年 5 月には国の地球温暖化対策計画が閣議決定されました。平成 42(2030)年度に平成 25 (2013) 年度比で 26%削減する国の目標達成に向け、一層、温室効果ガス排出削減の取組を進めていく必要があります。
- ②大規模事業所における温室効果ガスの排出削減が進んできていますが、さらなる削減に向けた取組が必要です。また、中小規模の事業所の温室効果ガスの排出削減等の環境負荷低減のために、引き続き環境経営の促進に取り組む必要があります。
- ③県内の市町で電気自動車等の活用や L E D 照明の導入等が進んできていますが、さらに多くの市町等で低炭素なまちづくりの取組を広げていく必要があります。
- ④東日本大震災以降、県民の皆さんや事業者在省エネルギーの意識が高まりつつありますが、より一層の省エネルギーの取組を促進する必要があります。
- ⑤世界的に温暖化の影響が顕在化しつつあり、県内においても、農林水産業、自然災害、健康などのさまざまな分野への影響が懸念されています。
- ⑥環境問題解決への具体的な行動を実践する人材を育てるためには、子どもたちを含めた環境教育が重要です。

平成 30 年度の取組方向

- ①「三重県地球温暖化対策推進条例」や「三重県地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスの排出削減の取組を推進していきます。
- ②温室効果ガスの排出削減を進めるため、大規模事業所に対し地球温暖化対策計画書に基づく自主的な削減取組を促進するとともに、中小規模の事業所に対しては、三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム(M-E M S)等の導入促進により、環境負荷低減の取組を進めます。
- ③市町等と連携して電気自動車等の活用や L E D 照明の導入等の省エネルギーに取り組む、低炭素なまちづくりの取組を広げていきます。
- ④家庭での温室効果ガス排出削減の取組を促進するため、地球温暖化防止活動推進センターと連携し、地球温暖化防止活動推進員等が行う普及啓発活動を通じて、節電取組や省エネ家電の導入、再生可能エネルギーの導入等を促進します。
- ⑤地球温暖化により将来生じる影響の最新情報について、県民の皆さんや事業者等に提供していくことで、地球温暖化の緩和とその影響への適応の取組を促進していきます。
- ⑥環境配慮行動の定着を図るため、県環境学習情報センターにおける講座において、E S D 等の取組を推進するとともに、県民の皆さんのニーズにあった学習メニューを実施していきます。

主な事業

- ①（一部新）地球温暖化対策普及事業【基本事業名：15101 温室効果ガス排出削減の取組推進】
予算額：(29) 3,504千円 → (30) 8,072千円
事業概要：温室効果ガスの排出削減を進めるため、県民や事業者等と共に効率的な省エネ機器への転換や再生可能エネルギーの活用等を進めます。また、気候講演会等を通じて気候変動への適応の取組を促進していきます。
- ②（一部新）低炭素社会づくり推進事業
【基本事業名：15102 電気自動車等を活用した温暖化対策の推進】
予算額：(29) 1,769千円 → (30) 7,815千円
事業概要：市町と連携し、電気自動車等の活用やLED照明の導入等による家庭や事業所での省エネルギー等に取り組む地域を創出するとともに、県庁舎に電気自動車用急速充電器の整備等を進めることで、低炭素な社会づくりを進めます。
- ③環境経営促進事業【基本事業名：15103 地球温暖化対策の普及啓発の推進】
予算額：(29) 5,345千円 → (30) 5,236千円
事業概要：事業者の自主的な温室効果ガス排出削減の取組を進めるため、M-E M Sの普及拡大を図るなど環境経営の取組を促進します。
- ④環境行動促進事業【基本事業名：15103 地球温暖化対策の普及啓発の推進】
予算額：(29) 5,309千円 → (30) 5,091千円
事業概要：家庭における温室効果ガスの排出削減を図るため、地球温暖化防止活動推進センターを拠点として、具体的な省エネ手法等に関する講座等の内容の充実を図りながら、地球温暖化防止活動推進員等による普及啓発を進めます。
- ⑤環境学習情報センター運営事業【基本事業名：15104 環境教育の推進】
予算額：(29) 40,041千円 → (30) 40,022千円
事業概要：環境教育を推進するため、県環境学習情報センターを拠点として、他団体との連携を図りながら、環境講座やイベント等を開催し、普及啓発を進めます。

みえエコ通勤パス

エコパ でバス通勤



みえエコ通勤デー
毎週水曜日
実施中

「エコパ」
とは？

「エコパ」は水曜日にバス運賃が半額になるパスです。週に1日、マイカー通勤をやめて、バスでエコ通勤しませんか。



発行手数料無料

エコパを利用するには、あらかじめインターネットからお申込みください。

バス運賃半額

対象バス路線の **全区間** で **利用可能**
簡単申込!

※普段、自家用車やバイクを使って通勤されている方が対象です。
異動や退職等によりマイカー通勤でなくなった場合にはエコパをご利用できません。

三重県バス協会に加盟する乗合バス事業者（三重交通、三岐バス、三交伊勢志摩交通、三重急行自動車、八風バス）の路線バスが対象となります。
注）一部対象外のバス路線があります。

「みえエコ通勤デー」とは？

自家用車やバイクの通勤から二酸化炭素排出の少ない交通手段であるバス等の公共交通機関による通勤へ転換を促す取組です。

■みえエコ通勤デー運営事務局

三重県環境生活部地球温暖化対策課
tel:059-224-2770
e-mail:eco-pass@pref.mie.jp

公益社団法人三重県バス協会
tel:059-234-1101
fax:059-234-0616

▶その他詳細はWEBでご確認ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/eco/ondanka/> みえエコ通勤デー

4-4

検索

三重県気候講演会

気候変化にどう備える？
～変わりつつある三重の気候～

2017年

11月2日(木) 13:30～16:00 (開場 12:30)

じばさん三重 ホール(6F)
(四日市市安島1丁目3番18号)

先着200名
(無料・事前申し込み)

『地球温暖化と三重県の気候
～これまでの変化と将来の予測～』

気象庁 地球環境・海洋部
調査官 田中 昌太郎 氏



『今年1月のような三重県北部豪雪は
温暖化時代でも再び起こる』

三重大学大学院生物資源学研究科
教授 立花 義裕 氏



申し込み・問い合わせ先

電話またはFAXでお申し込みください(申込〆切10/31(火))

津地方气象台

電話 059-228-6818 (平日9時～17時)

FAX 059-246-8484 (裏面の申込書をご利用ください)

主催：津地方气象台、三重県

4-5

後援：環境省中部地方環境事務所、三重県地球温暖化防止活動推進センター

三重県庁本庁舎前駐車場に電気自動車用急速充電器を設置しました

三重県庁本庁舎前駐車場に、電気自動車用急速充電器を設置しました。県有施設では、平成28年4月に設置した県営サンアリーナに続いて2件目となります。

- 1 設備設置場所 三重県庁本庁舎前駐車場
(津市広明町13番地)
(注・三重県本庁舎前駐車場は右回りの一方通行となります。)
- 2 充電器の種別・基数
電気自動車用急速充電器・1基
- 3 供用開始日時 平成30年2月1日(木) 14時00分
- 4 運用時間 8時00分から18時00分まで
(土曜、日曜、祝休日、年末年始(12/29~1/3)を除く)
- 5 設備利用料金 1分あたり15円(税別) 1回あたり最大30分利用可能です。
クレジットカードまたは、NCS(※)会員カードによる充電
(NCSホームページ参照：<http://www.nippon-juden.co.jp/cd/>)
NCSと連携し、自動車メーカー等が発行する充電カードを利用した場合、
充電料金は発行元の料金設定に基づきます。

※ NCS(合同会社日本充電サービス：東京都港区)
NCSは、電動車両の普及を目的に国内自動車メーカー4社(トヨタ、日産、本田、三菱)が設立した会社です。充電器の設置推進、充電ネットワークの充実を図ることで、電動車両(PHV・PHEV・EV)のユーザーにとって利便性が高く、電動車両の機能が最大限生かせる充電環境づくりに取り組んでいます。

■ 関連資料

- [三重県庁前駐車場急速充電器設置箇所図\(PDF\(282KB\)\)](#) 

■ 関連リンク

- [NCSホームページ](#)

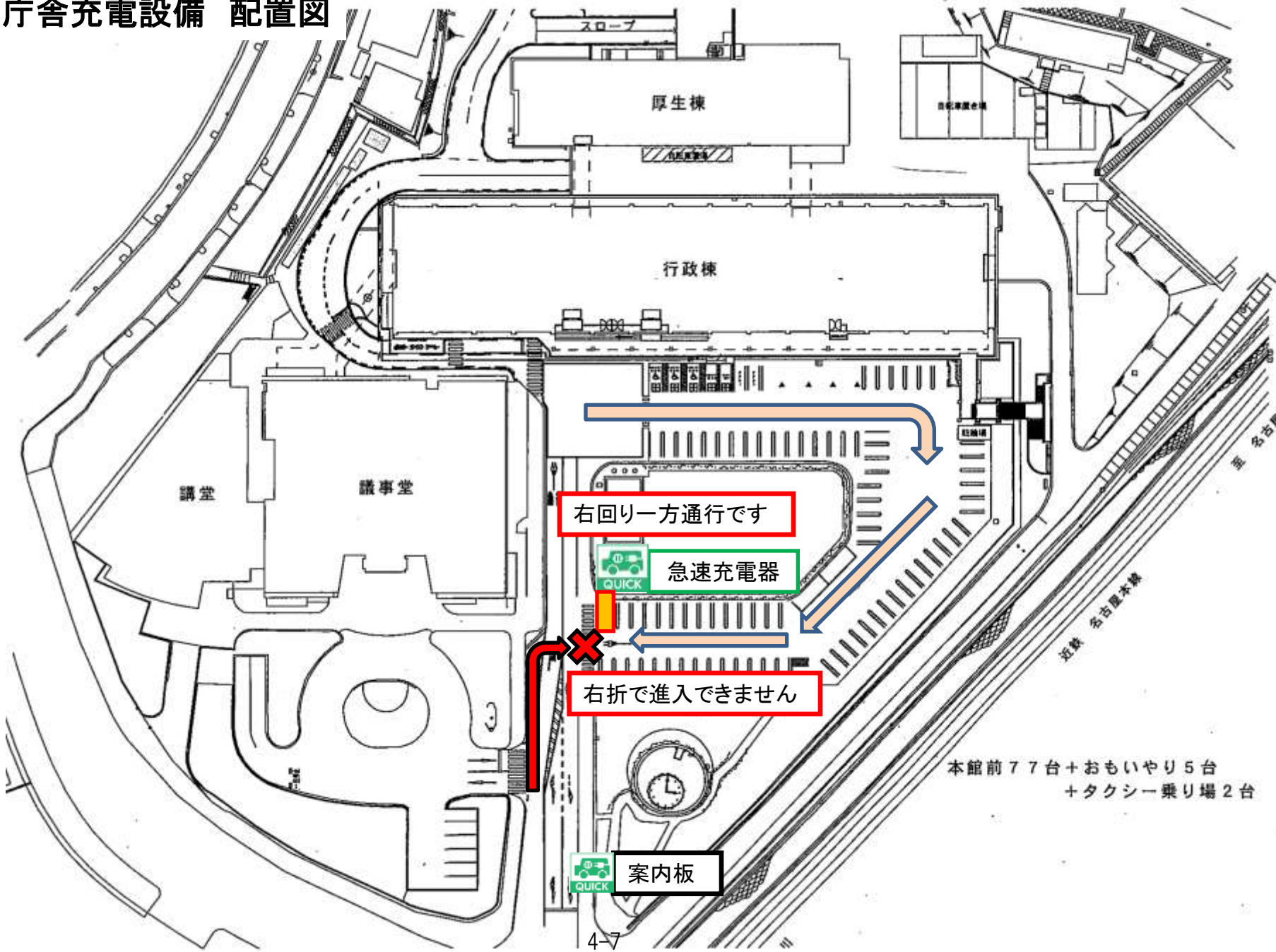
本ページに関する問い合わせ先

三重県 環境生活部 地球温暖化対策課 地球温暖化対策班

〒514-8570 津市広明町13番地

電話番号：059-224-2368 ファクス番号：059-229-1016 メールアドレス：earth@pref.mie.jp

本庁舎充電設備 配置図



環境フェアから出るCO2を、他の場所でのCO2削減・吸収量で埋め合わせ(カーボンオフセット)しています。



二酸化炭素を出さないイベント

環境フェア2020

日時 平成29年 **12月10日** 10:00~15:00

会場 **メッセウイング・みえ**
津市北河路町19-1 TEL059-223-4655

天候等の事情により中止や内容を変更する場合があります。

COOL CHOICE (=賢い選択)



たいけん・こうさく
体験・工作



電気自動車
燃料電池自動車
などの展示



移動式水素ステーションの展示



展示 11:30 まで

雨天等
中止



ドローンの飛行実演
開始時間
● 11:00
● 12:30
● 14:00
屋外

ステージイベント
環境トーク 13:00~14:00

テーマ
「乗り物から始めるエコライフ」



三重交通株式会社
代表取締役社長
雲井 敬



三重県地球温暖化防止活動
推進センター長
朴 恵淑

● 「三重県地球温暖化防止
啓発ポスターコンクール」
表彰式 10:20~

● もったいない省エネライフクイズ
(小学生対象 / 先着100名)
クイズ 11:00~(受付開始10:00)

食品ロス削減の
取組の一環として、
規格外品等の廉価販売

**売切御免
もったいない市**

高校による
農産物及び弁当等の販売
四日市農芸高校
相可高校調理クラブ

家庭の省エネフェア
LED等の省エネ家電をお値打ち販売
白熱灯2個をLED1個と無料交換
先着順、数量限定
(おひとりの回限り)

**あなたの
携帯電話などが
メダルに生まれ変わります!**

使用済みの携帯電話・パソコン・
デジタルカメラなどをご持参いただいた方は
粗品と交換します!

三重県・津市は、東京2020組織委員会が主催する
「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」
に協力しています。

主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター(一般財団法人三重県環境保全事業団)
共催：三重県 後援：中部地方環境事務所 中部経済産業局
協賛：一般社団法人三重県産業廃棄物協会



三重県地球温暖化防止活動推進センター事務局
住所：三重県津市河芸町上野3258番地
TEL 059-245-7517 FAX 059-245-7518
メール：mccca@mec.or.jp

★津駅東口、津新町駅
からサオリーナ前ま
で路線バス有(有料)
★車でお越しの際は、
エコドライブ&乗り
合わせで。



M-EMS認証制度

認 証 組 織	一般社団法人 M-EMS認証機構(2009年4月 法人化) ※2004年9月みえ環境県民運動協議会内にM-EMS認証事業部として発足
認 証 の 有 効 期 間	3年間 1,2年目は確認審査を受け、3年目更新審査を受け続けます。
認 証 登 録 の 証 明 ・ 公 表	M-EMS登録証を発行いたします。 また、登録リストに掲載されるとともに、「三重の環境」(三重県のHP)、「(一社)M-EMS認証機構」のホームページに公表いたします。
審 査 員 (コンサルタント)	M-EMS認証機構が認めたM-EMS審査員(コンサルタント)が、訪問し、審査及びコンサルティングを行います。ただし、審査の公平性を保つため、審査とコンサルティングは、別の審査員がそれぞれ担当します。 M-EMS審査員は、社団法人 産業環境管理協会 環境マネジメントシステム審査員評価登録センターに登録されたISO14001審査員補以上の有資格者で、M-EMS認証機構が定める経験等の基準に適合している資格者が務めます。
審 査 方 法	初年度:書類審査及び実地審査 1,2年目(初年度より):確認審査(パフォーマンスを重点に書類及び実地審査) 3年目(登録期間完了前):更新審査(書類及び実地審査並びに3年間の中長期実績の評価)

M-EMS認証取得をご検討の皆様

M-EMS認証取得をご検討の方は、M-EMS構築講座の受講をお申し込み下さい。
お申し込みの際は、下記の一般社団法人 M-EMS認証機構までご連絡下さい。

M-EMS構築講座

M-EMS構築講座は、M-EMS規格、構築の手続き、サンプル文書を配布し、M-EMS規格の内容及びM-EMS構築に必要な環境マネジメントの手順並びに、事業活動に伴う環境問題及び企業活動に係る環境関連法規制の概説、認証制度全般を含む内容です。

講座形式は半日講座で、定期的(毎月1回程)に開催しています。
日程、受講費用の詳細については構築講座のご案内をご参照下さい。

M-EMS認証取得にかかる費用

標準料金は、以下の通りです(従業員20名、1サイト(審査箇所)の場合)

区 分	コンサルティング費用	初年度費用		計	2年目以降 確認審査
		審査費用			
ス テ ッ プ 1	標準回数3回 38,880円(3回分)	書類/実地審査一式 60,480円/審査一式	一式	99,360円	確認審査一式 32,400円
ス テ ッ プ 2	標準回数4回 69,120円(4回分)	書類/実地審査一式 212,760円/審査一式	一式	281,880円	確認審査一式 106,920円

	初回審査費用	標準コンサル費用	2年目以降の確認審査費用
ステップ2W	約28万円	約9万円	約14万円
ステップ2SR 又は ステップ2Enを新規に取得	約24万円	約9万円	約12万円
ステップ2 から 2SR 又は 2Enへの移行	約12万円	約6万円	約12万円

※上表は消費税を含めた概算値です。ステップ2からSR又はEnへの移行は、確認審査に合わせた実施も可能です。
※別途テキスト代等、料金がかかります。

M-EMS認証についてのご相談は

一般社団法人 M-EMS認証機構までご相談下さい。各企業・組織の取組状況や業種・業態・規模等に応じて、審査ならびにコンサルティングの日程を助言・提案します。また、ご要望に応じお見積りをいたします。

お問い合わせ・お申し込みは

一般社団法人 M-EMS認証機構
URL: <http://www.m-ems.org/>
E-mail: info@m-ems.org
TEL: 059-221-1605 FAX: 059-221-1606



三重県環境生活部地球温暖化対策課
URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/eco/M-EMS/index.shtm>
TEL: 059-224-2368 FAX: 059-229-1016



みえ・環境マネジメントシステム・スタンダード

Mie・Environmental Management system Standard

ミームス

M-EMS

環境経営ツール「M-EMS」を活用して高める企業価値!



M-EMS

一般社団法人 M-EMS 認証機構

三 重 県

みえグリーン活動ネットワーク 会員一覧

(平成29年9月末現在)

【建設】 株式会社 三栄建設 株式会社 大栄 中部産業株式会社 堀田建設株式会社 ユウテック株式会社	【電気機器】 オムロン ヘルスケア株式会社 松阪事業所 有限会社 信美 住友電装株式会社	【銀行】 株式会社第三銀行 株式会社百五銀行 株式会社三重銀行
【倉庫・運輸】 極東冷蔵株式会社 日本トランスシティ株式会社 三重交通株式会社	【その他】 エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社 株式会社環境思考 新日本工業株式会社 有限会社 三重伸明 株式会社 三ツ星	【その他】 エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社 株式会社環境思考 新日本工業株式会社 有限会社 三重伸明 株式会社 三ツ星
【食料品】 井村屋株式会社 【繊維製品】 カネト製網株式会社 河田フェザー株式会社 栗原製網株式会社	【輸送用機器】 ジャパン マリンユニテッド株式会社 津事業所 【鉄鋼】 JFEエンジニアリング株式会社 津製作所 【水産・農林】 吉田本家 山林部 【卸売り】 株式会社 大戸 K&Kコヤマ株式会社	ホンダアアシストムラセ株式会社 株式会社山本建材 吉田工業株式会社 株式会社 吉野興産
【ハルパ・紙】 有限会社 竹中商店 【金属製品】 カネソウ株式会社 【ガラス・土石製品】 ウェアレ・ジャパン株式会社 松阪工場 太平洋セメント株式会社 藤原工場	【小売り】 株式会社ぎゆうとら 彩電館やまもと テュプロ販売株式会社 三重ロビー株式会社 【サービス】 イセツト株式会社 株式会社 カギテック 有限会社 ケイ・スタッフ 三重中央開発株式会社 株式会社メイハン 株式会社若鈴 株式会社 アイブレーン 有限会社 観光旅館福寿社	【行政】 伊賀市 津市 四日市市 三重県 【その他団体】 グリーンリサーチ 生活協同組合コープみえ 一般財団法人 三重県環境保全事業団 国立大学法人 三重大学 NPO法人 環境評価研究機構 一般社団法人 M-EMS認証機構
【非鉄製品】 株式会社 ヤマキン 名張工場 【その他製品】 シグマ・技研株式会社 株式会社 トークレー パネフリ工業株式会社		

みえグリーン活動ネットワーク みえGrAN

ご挨拶

— みえグリーン活動ネットワークについて —

日頃より、環境活動へのご理解・ご協力、また当ネットワークへのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、みえ・グリーン購入倶楽部は、去る平成29年3月13日に臨時総会を開催して会則の改定を決議し、事業を従来のグリーン購入に加えて、地球温暖化防止、廃棄物削減、環境教育および自然保護等の環境保全活動を協力して行う組織として改組しました。

これに伴い、名称は「みえグリーン活動ネットワーク」とし、上記の活動を行うため、分科会を設置して、全会員がいずれかの分科会に所属し、環境活動を行ったり、環境活動を見守ることによって、会員相互の協力や交流を図り、以て地域の環境保全を推進し、更に地域の活性化を図ります。

また、この活動へ参加いただき、皆様の組織のCSR(社会的責任)のコンテツとして利用いただくことによつて、ISO14001 やM-EMSの環境マネジメツトシステムでの有効な目標・パフォーマンスにもなることが期待されています。

尚、みえグリーン活動ネットワークでは、会費は従前通り据え置くと共に、従来以上に積極的な活動を行つて参りますので、引き続き、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

平成29年 4月
みえグリーン活動ネットワーク
代表幹事 佐藤 邦夫

会の目的

三重県の環境をより良いものとするため、環境活動に対して熱意のある企業・団体等が一堂に会し、地域の環境や地球環境の保全に関する具体的な実践活動、交流および情報発信を行う事により、環境への負荷の少ない地域経済の形成を促進し、持続可能な社会の構築を目指します。

みえ・GPCから「みえグリーン活動ネットワーク」へ

【みえグリーン活動ネットワークの概要】

「みえグリーン活動ネットワーク」は、三重県の環境をより良いものとするため、地域の環境活動団体として活動します。

【事業内容】

グリーン購入、地球温暖化防止、廃棄物削減、環境教育、および自然保護等の環境に関する活動を幅広く行うとともに、会員の活動状況等の情報の配信・共有を行います。

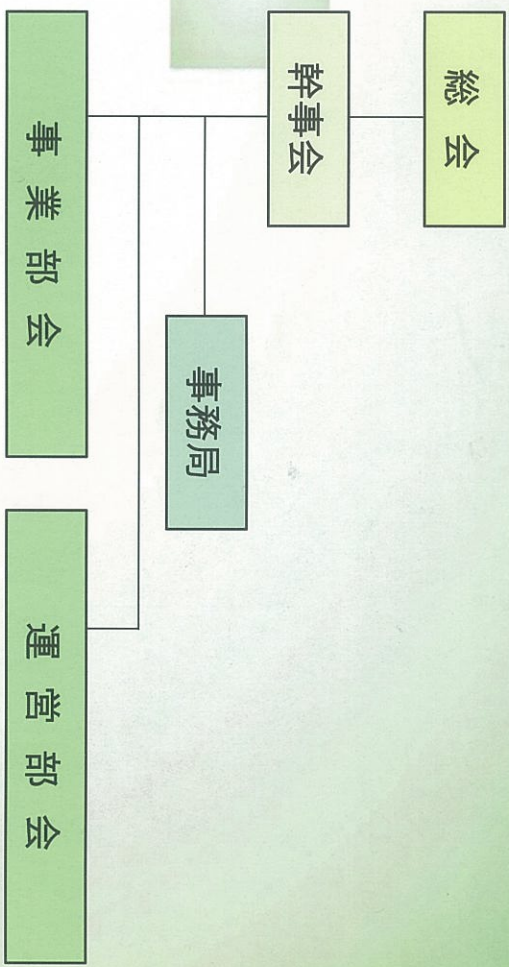
【事業部会、運営部会の新設】

「みえグリーン活動ネットワーク」には、事業を実施する「事業部会」と、組織の企画調整事務等を行う「運営部会」を新たに設置しました。

【分科会について】

事業部会には、その年度の活動方針に基づき「分科会」を設置します。会員は具体的活動を行ったり、有用な情報を得るために、いずれかの分科会に所属します。

みえグリーン活動ネットワーク(新体制組織図)



平成29年度 分科会

- ① グリーン購入・調達部会
- ② エコ通勤部会
- ③ 廃棄物削減分科会



お問い合わせは下記事務局まで

〒514-0005

三重県津市鳥居町251番地の5

(三重県建築技術センター 鳥居支所内3F
一般社団法人 M-EEMS認証機構内)

みえグリーン活動ネットワーク 事務局

TEL: 059-221-1609

FAX: 059-221-1606

E-mail: info@mga-net.cloud
URL: https://mga-net.cloud/

または

三重県環境生活部

地球温暖化対策室

TEL: 059-224-2366

FAX: 059-229-1016

E-mail: earth@pref.mie.jp
URL: http://www.pref.mie.lg.jp/eeco/index.shtm

三重県環境学習情報センター主催「Mie子どもエコフェア」と株式会社東産業主催・四日市大学共催「環境フェア」が統合した「夏のエコフェア2017」を今年も開催します!

63団体
67ブース
出展!

三重の環境に触れよう、体験しよう、学ぼう、環境を守るために一歩踏み出そう!

夏の エコフェア 2017



平成29年 7/22(土) 23(日)

入場無料 雨天決行

OPEN 10:00 ~ 15:00

※荒天時(暴風警報発令など)には中止する場合があります
中止の場合は「夏のエコフェア2017」専用ホームページにてお知らせします
※飲食・販売ブースと一部ブースで材料費など有料あり
各会場への入場は10:00までできません

場所: 三重県環境学習情報センター及び周辺施設

「夏のエコフェア2017」
公式ホームページ



<http://www.azuma-mie.co.jp/ecofair/>

夏のエコフェア2017 検索

おしゃべり、おして、あつめよう!

スタンプラリー

三重県環境学習情報センター、三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター、(公財)国際環境技術移転センター(ICETT)、屋外ブースを回ってスタンプをGET! スタンプを集めて参加賞をもらおう! 景品は「三重県環境学習情報センター」前、総合受付で交換できます!

※景品交換は1人1回限りです ※景品はなくなり次第終了となります

①

三重県環境学習
情報センター

②

三重県鈴鹿山麓
研究学園都市
センター

③

(公財)国際環境技術
移転センター
(ICETT)

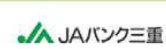
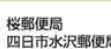
④

屋外ブース

主催 「夏のエコフェア2017」実行委員会 三重県環境学習情報センター 株式会社東産業 四日市大学

協賛

※五十音順



協力

※五十音順

イオン四日市尾平店 海の博物館 花王(株) (有)三功 タカラバイオ(株) (独)中小企業基盤整備機構中部
三重県環境学習情報センター受講生 三重県立四日市農芸高等学校 自然環境コース
四日市メリノール学院高等学校インターアクトクラブ

後援

三重県教育委員会 木曾岬町教育委員会 桑名市教育委員会
いなべ市教育委員会 四日市市教育委員会 四日市市教育委員会
川越町教育委員会 亀山市教育委員会 亀山市教育委員会